

## 第 36 回「南山大学英語教員セミナー」概要

開催日時 : 2012 年 7 月 31 日(火)~8 月 2 日(木)、10 時~15 時

開催場所 : 南山大学名古屋キャンパス R 棟・R32 教室

テーマ : 「英語教育を捉え直す: 最新の英語教育論と言語理論からの示唆」

講師 : 村杉 恵子 (南山大学外国語学部教授)

Anthony Cripps (南山大学外国語学部教授)

芝垣 亮介 (南山大学外国語学部講師)

2012 年度の英語教員セミナーでは、最新の英語教育論と言語理論から英語教育への応用について考えます。

1 日目は、南山大学外国語学部英米学科の村杉恵子教授が「心理言語学」と「生成文法」から英語教育へ示唆しうるところについて、文法、読解（文字の解読と読解のストラテジー）、語彙の三つのレベルについて日本語で講義します。

2 日目は、2011 年度まで立命館大学で教鞭をとられ、本年度南山大学外国語学部英米学科に着任された Anthony Cripps 教授が、最新の「英語教育論」の中から実践につながる方法論を紹介します。以下は Cripps 先生からのメッセージです。

”My sessions will focus on the practical application of modern teaching practices. Lectures on current teaching methodology will be followed by discussions and practical workshop activities. Participants will be asked to take part in group-work and share their thoughts with other members of the group.”

英語教育分野の第一線となる最新の実践法を「英語で」講義します。

3 日目は、昨年ロンドン大学で博士号を取得し、本年度南山大学外国語学部英米学科に着任したばかりの芝垣亮介講師が、最新の「構文論」や「意味論」が英語教育に示唆するところについて日本語で講義します。一定の意味をもつ文が言語によってさまざまな構文であらわれうることを、英語や日本語のみならず、モンゴル語、タイ語、中国語など多様な言語を対象として典型的に鳥瞰してきた研究歴をもとに、より広く深い視点から英語をどのように捉え教育に生かしていくのかについて考えます。

皆さんと共に、新しい南山大学外国語学部英米学科から、よりよい英語教育に向けて、新たな試みを編み出せる機会にできたらと願っています。